

高知県支部の沿革

元号・年	西暦	月	高知県支部の動き
明治20年	1887	11月	日本赤十字社高知県委員部を設置(高知県庁内)
明治28年	1895	1月	高知県委員部が日本赤十字社高知支部に昇格
		4月	支部看護婦養成を開始
明治37年	1904	5月	日露戦争が起き、第82救護班33名を編成し松山俘虜収容所に派遣
明治44年	1911	5月	赤十字社篤志看護婦人会高知支会創立
		11月	県庁構内に高知支部事務所落成
大正3年	1914	8月	第一次世界大戦救護要員を英国、シベリアに4名派遣
大正10年	1935	12月	支部事務所を高知市西弘小路507-1に移転改築
大正12年	1937	9月	関東大震災が起き、東京へ救護班を派遣
昭和2年	1927	5月	支部少年赤十字団誕生
		10月	支部療院建設用地4,100坪を高知市江ノ口に購入
昭和3年	1928	8月	日本赤十字社高知支部療院開設(高知市江ノ口、内科、外科、眼科、72床)
昭和5年	1930	4月	高知支部において救護看護婦養成事業開始
昭和7年	1932	3月	満州、上海事変救護班要員として大阪支部へ看護婦5名派遣
昭和9年	1934	4月	室戸台風上陸、救護活動に従事
昭和12～20年	1937～45		太平洋戦争などのため救護活動にあたる
昭和21年	1946	5月	支部高知市診療所開設(昭和31年5月閉鎖)
		10月	支部十川診療所開設
		12月	南海道大地震発生に伴い、支部挙げての救護活動を実施
昭和23年	1948	3月	高知赤十字高等看護学院設置
		4月	支部大正診療所開設、赤十字奉仕団制度発足
		6月	青少年赤十字団発足
昭和25年	1950	4月	高知支部白い羽根募金開始(昭和34年廃止)
昭和28年	1953	3月	高知支部を高知県支部と改称
昭和29年	1954	8月	第1回赤十字奉仕団県大会を開催
昭和32年	1957	3月	高知県支部点字図書館開設
		5月	高知赤十字病院本館改築工事竣工(鉄筋4階)
昭和34年	1959	9月	高知県赤十字青年奉仕団発足
昭和35年	1960	10月	高知県知事と災害救助法による業務委託協定締結
昭和38年	1963	10月	赤十字百周年高知県大会を開催
昭和40年	1965	5月	高知県赤十字血液センター開設(高知赤十字病院構内)
昭和43年	1968	3月	支部庁舎並びに血液センターが高知市丸ノ内に落成
昭和45年	1970	8月	台風10号に伴い、支部救護活動実施
昭和47年	1972	1月	大川村白滝鉦山社宅全焼に伴い、支部救護活動実施
		7月	土佐山田町繁藤災害に伴い、支部救護活動実施
昭和48年	1973	4月	高知赤十字高等看護学院休止
昭和52年	1977	11月	日赤百周年記念青少年赤十字高知県大会開催
昭和55年	1980	4月	高知県安全赤十字奉仕団結成
昭和60年	1985	3月	高知赤十字病院本館落成
昭和61年	1986	3月	血液センター高知市棧橋通に移転改築
昭和62年	1987	10月	支部創立100周年大会を開催
昭和63年	1988	3月	支部創立100周年を記念し、「百年のあゆみ」を発刊

平成2年	1990	9月	高知県赤十字有功会が発足
平成6年	1994	11月	高知赤十字病院南館竣工、救命救急センター、健康管理センター開設
平成7年	1995	1月	阪神淡路大震災に伴う救護班の派遣
平成10年	1998	2月	血液センター 献血ルーム「ハートピアやまもも」開設
		9月	高知豪雨に伴う救護班などの派遣
平成13年	2001	9月	西南豪雨に伴う救護班などの派遣
平成16年	2004	11月	新潟中越地震に伴う救護班などの派遣
平成21年	2009	7月	日赤DMAT 県と登録協定締結
平成22年	2010	3月	支部事務局を総合あんしんセンターに移転
平成23年	2011	3～8月	東日本大震災に伴う救護班、ボランティアなどの派遣